

## 令和7年度第2回滝沢市産業振興会議 会議録

### 1 会議の名称

令和7年度第2回滝沢市産業振興会議

### 2 開催日時

令和8年2月19日（木）午後2時～午後3時20分

### 3 開催場所

滝沢市役所3階 庁議室

### 4 出席状況

#### (1) 滝沢市産業振興会議委員

役職	氏名	所属団体・役職
会長	近藤 信一	岩手県立大学 総合政策学部 教授
副会長	百目木 忠志	滝沢市自治会連合会 会長
委員	阿部 正喜	滝沢市商工会 会長
委員	中島 恒夫	一般社団法人滝沢市観光物産協会 会長
委員	菊地 明美	新岩手農業協同組合 理事
委員	金子 直史	株式会社東北銀行 滝沢支店 支店長

#### (2) 滝沢市

所属	職氏名
経済産業部	部長 木下 昇三
経済産業部 観光物産課	課長 朝岡 将人
経済産業部 農林課	課長 松本 理
経済産業部 企業振興課（事務局）	課長 中野 亜希子
経済産業部 企業振興課（事務局）	主任主査 鳴海 志帆

### 5 傍聴人の有無

なし

### 6 会議資料の名称

- (1) 次第
- (2) 名簿
- (3) 資料1 令和7年度産業振興事業実績について
- (4) 資料2 令和8年度産業振興施策（案）について
- (5) 参考資料1 滝沢市産業振興条例
- (6) 参考資料2 滝沢市産振会議運営要領

## 7 会議記録

### (1) 開会

### (2) 会長及び副会長の互選

会長に近藤委員、副会長に百目木委員が互選をされた。

### (3) 議事

近藤会長が議長を務め、全ての内容を公開することについて、出席した委員から承認を受けた上で議事の進行がなされた。

#### ①令和7年度産業振興事業実績について

##### 【進行】会長

事務局より、産業振興条例に規定する分野ごとに説明を受け、委員から質疑と意見を伺う。分野ごとに担当課長より順次説明願いたい。

##### 【説明】企業振興課長

※別紙「資料1」の内容に沿って説明を実施。

##### 【質疑】委員

青年部のチャグジョブとビッググループで実施をしているキッズニアは見ていて同じことをやっていると思う。一本化できないかを感じているがどうお考えか。

##### 【回答】企業振興課長

子どもたちにとって体験をする機会が複数あることは良いことだと思っている。キッズニアの担当は地域づくり推進課で、チャグジョブは商工会と我々が一緒にやっている。情報交換をしながらやっていければと思っている。

##### 【質疑】委員

はたから見ていると、同じことを2回やっているように見える。一緒にやった方が職業体験も多くできるし、機能的にも金銭的にもよいのではと感じているが。

##### 【回答】企業振興課長

チャグジョブは市内事業者を知ってもらう機会として市内事業者を中心に実施し、キッズニアはそこでは補完できない仕事、市内事業者にはない職種を体験できるため、子どもにとって様々な職種を体験できる機会になっている。両方良い部分があると思うので、すり合わせながら、市内事業者を周知する機会と子どもが色々な職種を知る機会がうまく融合できる形でやっていければと思う。

##### 【回答（補足）】経済産業部長

子どもたちにとって色々な仕事があり、そこと市内事業所を調整すると、市内事業所が少なくなってしまうこともある。上手く調整できれば良いと思う反面、市内事業者に多く出てほしいとも思っている。会場も限られてくるので、どういう折り合いがつけられるか今後検討していきたい。

また、キッズニアそのものの考え方もあるので、参加することができない市内企業も出てきてしまう懸念もある。折り合いが難しいが、青年部が中心にやっているため、我々は出来るだけ市内事業所が出られる機会がよいと考えている。今後、その点を踏まえて協議できれば。

**【意見】 委員**

前は時期的に近接していたので、時期的な問題もある気がする。半年時期を離すなどの方が良いかと思う。

**【提言】 委員**

このような取り組みをすると、業種別にやるパターンが多い。職種別にやるのも手である。例えば、経営者・営業・企画など。そうすれば、経営者の体験を通じて起業家教育に繋がっていくこともある。また、比較的どうしても高卒が着く仕事が多くなってしまう。銀行員や医者等大卒でなければ就けない職業も結構人気になる。そのような業種の企業は市内にあると思うので、キッザニアとは違う事業になると思う。

**【意見】 委員**

I Tブリッジベースの事業について、商工会でも重点事業で出るのがD Xだが、どういう成果がでているかが不明。目標を決めてやっていかないといけない。よい取り組みだがもっと有機的に。宣伝はいくらやってもよいので成果がでるようにやってほしい。

**【回答】 企業振興課長**

I Tブリッジベースは今年度初めてやった取り組みである。商工会で実施しているI Tの導入の企業さんの取組に関わってくれた方が、このI Tブリッジベースに出てスキルをもち、D X化支援で国の補助金を取る伴走支援をやっていただいている。長い目で見て滝沢市の企業が繋がっていければと思っている。来年度以降は、商工会の事業と密に連携を取り、I Tブリッジベースを間に挟んでやっていければと思っている。

**【質疑】 委員**

このI Tブリッジベースにできるような形にしてもらえば1番良い形では。

**【回答】 部長**

市内企業と一緒にI Tを導入していきましょうということが1番の目的。我々もたくさんの事業所に来てもらいたい。ますます連携していければと思う。

初めて実施したため反省点も多かった。より一層商工会の事業と連携してチャレンジをしていきたい。

**【質疑】 委員**

阿部委員が話されていた成果指標についてはどう考えているか。

**【回答】 企業振興課長**

連携先がこの人だとわかる仕組みを作っていたり、会社がスキルアップにI Tを絡ませられるような人材育成の仕組みができることが目指すところであるが、1、2年で成果が見えるものではないと思っている。

**【意見】 委員**

本当はある程度その成果が出てくればよいのだが。せっかく岩手県立大学があるので、滝沢市だけでなく他の地域にも広がっていくと良いと見ている。

**【進行】 会長**

次に、農林業分野について説明願いたい。

**【説明】 農林課長**

※別紙「資料1」の内容に沿って説明を実施。

**【質疑】 委員**

熊関係は全て農林課が所管をしているのか。生活圏に出てきたことが1番の問題。警察の情報や駆除件数は把握できているのか。

**【回答】**

防災無線は防災防犯課で流しているが、原稿の作成や流す判断は農林課で行っている。警察とも常に連携を取り、こちらに入った情報も必ず情報共有をしている。

駆除件数は市でおさええている。今年度は51頭。今までは10頭から20頭ほどだった。それでもおそらくまだまだいるものだと思っている。

**【質疑】 委員**

野生動物なので何とも言えないが、いずれ本当に実害がでなければ良いと思う。

**【回答】 農林課長**

実際事故は起きているので、なかなか難しいところはあるが、どのように防いでいくかが課題。地域と連携をするなど検討しなければならない。緊急銃猟については、いつでも動ける体制にはなっているが、訓練をしているわけではない。

**【意見】 委員**

素人感覚だが、対策は防ぐための防災と起こった時にどのように最小限に被害を防ぐかの減災の2つに分けていくべきではないかと思う。対策を分けて考えるとよい。

**【意見】 委員**

食の匠で初めて滝沢の農協に依頼を受けた。通常は食生活改善グループ等から依頼がくることが多いが、窓口が違っていても農業をやっている人達がでてくる。私は『きりせんしょ』を40年作っている。

今回、匠で感じたことは、郷土料理とはしなくても、「馬コノ時期に笹持ちを作る」など年間に10回ほど市内地域で季節ごとに色々な料理を食べている風習が、だんだんなくなってきてしまっていること。どのようなものを食べてきているかを、地域でも伝えていかなければならない。

また、地元で食べられているものを外にも発信し、滝沢市の良さをわかっただくことも取り組んでいければと感じた。

**【回答】 農林課長**

外への発信としては、今は農産物や加工品の販売をしているが、市として「食」に対しては、おそらく他の部署でもやっていない部分であり、どういう形でできるか。地域で受け継がれている料理を色々な方の話を聞きながら掘り下げられればと思う。

**【質疑】 委員**

地域おこし協力隊について、現在2名だが、今まで何名いたのか。

**【回答】 農林課長**

卒業した人が3名で、現役が2名。

**【意見】 委員**

取り組み内容の「儲かる農業の仕組み」に非常に興味がある。協力隊の卒業生と今の隊員の方とがコラボをしてやれればと思う。協力隊の活動は滝沢市にとって資産でもある。卒業生がいるということをアピールしながら外とのつながりを組めていけばよいのではと思っている。

**【回答】 農林課長**

卒業生は、ぶどう栽培からのワイン造りの方、もう一人の方はIT関連の方。それぞれ何ができる考えながら化学反応が出てくれば面白いと思う。そのようなことは多分可能である。

**【質疑】 委員**

自治会連合会では市長と教育長に対して子どもやスクールガードを守るための熊対策に関する要望書を10月に提出した。中身はスクールガードの講習会とスプレアの配置。講習会は11月に開催をしていただいたが、スプレーは使用時の危険や問題もあるとの話であった。今スプレーは在庫不足とのことと金額も1本2万円程度と高額で、市内244名のスクールガードへ配布する予算措置の問題があり少し検討を重ねたいとの話であった。令和8年は出前講座で勉強をして、連携をしていきたい。

**【回答】 農林課長**

まずは熊を知ってもらうことが大事なことだと思う。今年度は市民の皆さんの熊への関心が高まった。普及啓発は高めていきたい。スプレーも国産のものもできてきたがそれでも1万3、4千円程。。先ほどのお話のとおり、スプレー使用時の安全の問題があり使い方を熟知したうえで使うことも大事だと思う。それも踏まえての講習ができればと思う。

**【回答（補足）】 経済産業部長**

スプレーは、おそらく山での使用を主と、市街地での使用を想定していないのだと思う。市街地で使用するのは大変。熊を知ることともそういうこともふまえて普及していかなければならないと考えている。

**【進行】 会長**

次に、観光物産分野について説明願う。

**【説明】 観光物産課長**

※別紙「資料1」の内容に沿って説明を実施。

**【質疑】 委員**

商工会と観光物産協会とで連絡会を組織して特産品コンクールを実施した。今回の賞は観光物産協会の予算で贈る。選ばれたものが商品化をするまでの予算が協会や連絡会にはないので、その辺をどう考えているか。

**【回答】 観光物産課長**

市の特産品開発補助金があるので、アイデアを事業化する段階になった際に、事業者から申請をしてもらえれば、補助金は最大で30万円。特にも1回目のコンクールなので注目度も上がっている。賞をとったものを商品としてお見せすることが大事だと思っているので、力を入れてやっていきたい。

## ②令和8年度産業振興施策について

### 【進行】会長

次に、次年度委員の皆さまの団体組織と連携をしながら進めたい事業等、令和8年度の各分野の産業施策について、事務局より説明を受け、委員から質疑と意見を伺う。はじめに、商工業分野について説明願いたい。

### 【説明】企業振興課長

※別紙「資料2」の内容に沿って説明を実施。

### 【質疑】委員

企業誘致について、ある程度業種は限定されているのか

### 【回答】企業振興課長

今のイノベーションパークは、IT関連企業を誘致してきたが、今後拡張するエリアは、そのIT企業とコラボして何かできる企業までを対象にしていきたいと思っている。岩手県立大学にはソフトウェア情報学部だけでなく、総合政策学部、看護各部、社会福祉学部があり、実習等その方々が企業と関わる場所にもしていただきたい。お互いに上手く連携していきたいと思っているので、業種を絞るというよりは拡張エリアは広げるイメージでいる。

イノベーションパークの土地がいっぱいになりそうなので、新たにIT企業も増やして行きたいと考えており、小さめの区画も用意しつつ、大きめな区画も将来分轄できるような形で造成をしたい。

### 【提言】委員

H I H（ヘルステック・イノベーション・ハブ）は県の工業技術センターが近接し、医療機器関連産業に特化した企業だけを呼んでいる。IPUイノベーションセンターは、岩手県立大学ソフトウェア情報学部があり、そこに隣接している工業団地であることが非常にメリットだと感じている。ソフトウェア・ITを専攻とする単独学部は東北で2つしかない。ある一定の集積が超えてくると、名前がブランド化していき、集積の効果が生まれてくる。今の話だとITから大学の方に変換をするという方針になる。そうするとブランドとして負ける。どちらかというとならITに特化した従来のやり方の方が、よりブランド価値を高められると思う。特にIT関係でいうと、今はデータセンターが非常に不足していて、寒い地域が非常にメリットだと思う。あくまでも意見。

### 【質疑】委員

今年度の滝沢ミライプロジェクトはホームページを見ると3月7日に最終成果発表会を予定しているようだが、今回の取組を説明いただきたい。また、昨年度の最終成果発表会で最優秀賞になった、りんごを活用したグラノーラはどうなったのかもあわせてお願いしたい。

### 【回答】企業振興課長

今年度の滝沢ミライプロジェクトは6チームが動いている、分野は様々で、福祉、公共交通、郷土料理をやりたい子など、地域の活動だけでなく多岐にわたった活動をしている。最終成果発表会は、6チーム以外にも、若者応援補助金で活動をした

人達の発表も予定している。半日、若者がにぎやかに発表するような会にできればと思っている。詳細はこれから周知をしていきたい。

グラノーラは、昨年度、高校2年生と1年生が取り組んでくれたもので、年度当初に確認をしたところ、部活や受験で主体的に取り組むことに足踏みしていたようだった。時期を見てたきつけてみたいとは思っている。

**【進行】 会長**

次に、農林業分野について説明願いたい。

**【説明】 農林課長**

※別紙「資料2」の内容に沿って説明を実施。

※質疑なし

**【進行】 会長**

次に、観光物産分野について説明願いたい。

**【説明】 観光物産課長**

※別紙「資料2」の内容に沿って説明を実施。

**【意見】 委員**

地域産品は必要である。市役所前のいとくは4月のオープンを予定している。物価高騰対策の商品券もその時期になると思うので、絶好のチャンス。それに間に合うように頑張りましょう。

**【意見】 委員**

先日、岩手日報で見たが、読谷村からのオファーがあり、子ども達の交流を行うとのようだ。滝沢村が市になった際、4月に読谷村の方が来られ、読谷村の人がりんごを食べたいと言っていた。これを機会に交流関係を深めて、滝沢市は友好都市や姉妹都市もないのでこれをきっかけに進めていければどうかと思っている。

**【回答】 観光物産課長**

今回の子ども達の交流事業を契機とし、観光や物産においても交流を深めていきたい。

**③その他**

**【進行】 会長**

委員から発言したいことはあるか。

※委員からの発言なし。

**【進行】 会長**

以上で本日の議事を終了する。

**(4) その他**

**【進行】 企業振興課長**

その他として、何かあれば発言願いたい。

※委員からの発言なし。

**(5) 閉会**